

令和6年度練馬区主催 ひきこもり講演

親から始まるひきこもり回復

～ ひきこもり当事者への家族の関わり方～

日時

令和7年

3月1日(土) 13:00～15:30

場所

練馬区役所本庁舎

アトリウム地下 多目的会議室

(練馬区豊玉北6-12-1)



練馬区では令和5年度より、ひきこもりに関する区主催の講演会を開催しています。

今年度は、心理学に基づくひきこもり支援を実践されている、SCS カウンセリング研究所代表の榎田智彦氏を講師に招き、ひきこもり当事者への家族の関わり方をテーマに講演会を開催いたします。

自身もひきこもりを経験されたから榎田氏だからこそその視点もお伝えいただけるかと思えます。

質疑応答にも時間が許す限りお答えいただけるということです。ぜひご参加ください。

【対象】 テーマに関心のある方

【定員】 90名 (先着順)

【参加費】 無料

申込方法

2月20日(木)までに、
専用フォームまたは
電話で下記問合せ先へ

専用フォームは
こちらから ⇒



問合せ先

練馬区福祉部生活福祉課
自立促進支援係
☎03-5984-4698

講師 榎田智彦 氏

SCS カウンセリング研究所:代表
Self-actualization Counseling Society
ひきこもり専門の臨床心理士



講師プロフィール

昭和49年、東京都世田谷区生まれ。
学生時代から作曲家を目指しプロの音楽家として活動するも、30歳を前に無二の親友を不幸な形で亡くしたことに壮絶なショックを受けひきこもる。カウンセラーであった実母（SCS 前代表）が創始した「親育ち・親子本能療法」の方針の下、実家で静養したことで立ち直る。その後「人の役に立つ仕事を！」と猛勉強の末、産業カウンセラー取得、大学・大学院へ進学し、臨床心理士資格を取得。精神科クリニック勤務を経て現在、一般社団法人SCSカウンセリング研究所：代表。親育ち・親子本能療法カウンセラーとして、ひきこもり・不登校支援に従事している。主な著書に「親から始まるひきこもり回復～心理学が導く奇跡を起こす5つのプロセス～」 「中高年がひきこもる理由-臨床から生まれた回復のプロセス-」がある。



(著書)